証券コード2001

「2018年度第2四半期決算」説明会

2018年11月15日

日本製粉株式会社
https://www.nippn.co.jp

本日のスケジュール

◆ご案内

◆2018年度第2四半期の業況と今後の成長戦略

代表取締役社長　近藤　雅之

◆「2018年度第2四半期決算」の概要及び通期業績予想

取締役常務執行役員　関根　昇

◆質疑応答

NIPPN

証券コード2001

2018年度第2四半期の業況と今後の成長戦略

2018年11月15日

日本製粉株式会社
https://www.nippn.co.jp

本日ご説明させて頂くポイント

1	2018年度第2四半期の業況
2	事業環境の変化
3	持続的成長戦略
4	CSR経営の推進

NIPPN

2018年度第2四半期の業況

2018年度第2四半期の連結業績

ポイント

●売上高は、製粉・食品・その他事業ともに販売増加等により増収

●利益面では、売上増による利益拡大・コスト削減等により増益

●現時点では1株につき年間30円配当を予定

2018年度第2四半期実績

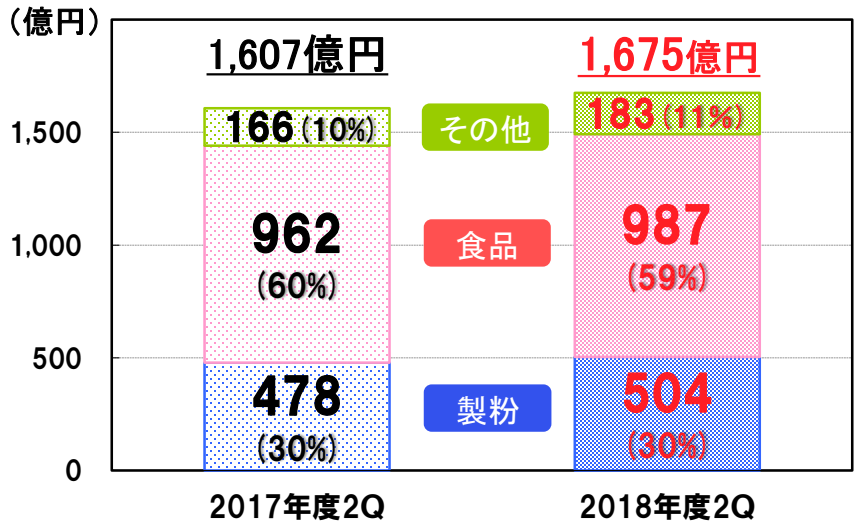
（百万円）

	2017年度 第2四半期	2018年度 第2四半期	増減	増減%
売上高	160,760	167,586	6,825	4.2%
営業利益	4,501	5,346	845	18.8%
経常利益	5,484	6,377	893	16.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,551	4,031	480	13.5%

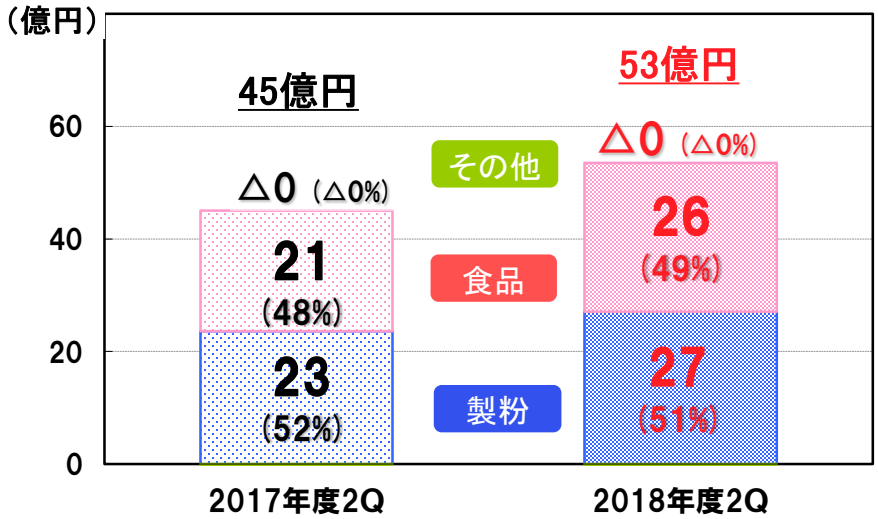
NIPPN

「2018年第2四半期(累計)」の連結業績

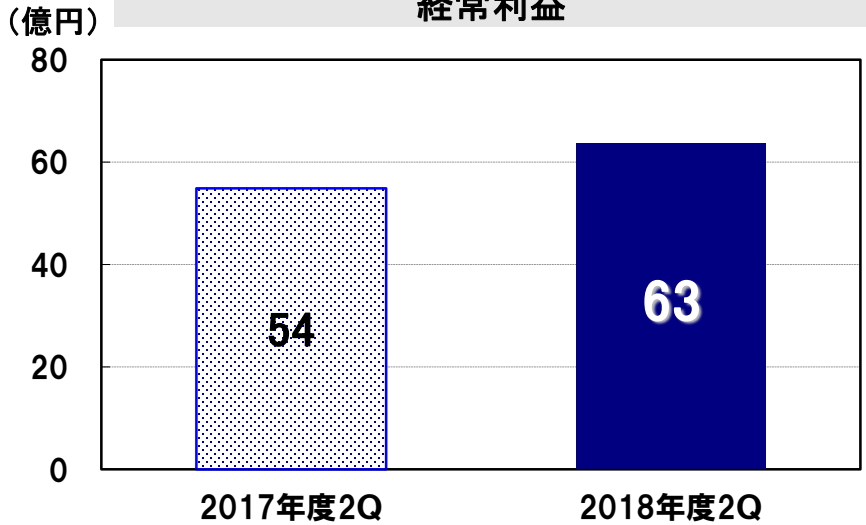
売上高



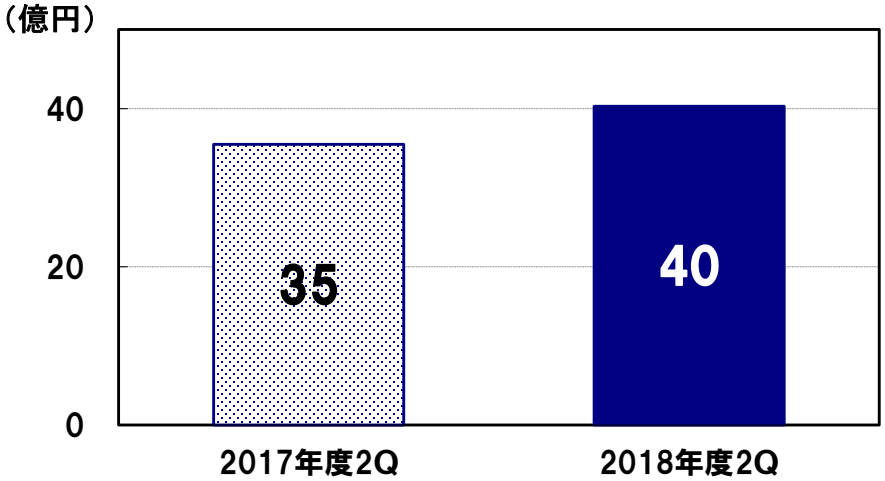
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



(億円未満切捨)

NIPPN

2018年度連結業績予想

ポイント

●売上高は、製粉・食品・その他事業ともに増収

●利益面は、各事業の販売拡大によりコスト増を吸収し増益

●現時点では1株につき年間30円配当を予定

2018年度業績予想

（百万円）

	2017年度	2018年度	増減	増減%
売上高	323,495	350,000	26,505	8.2%
営業利益	10,060	12,000	1,940	19.3%
経常利益	11,862	13,500	1,638	13.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,651	9,000	1,349	17.6%

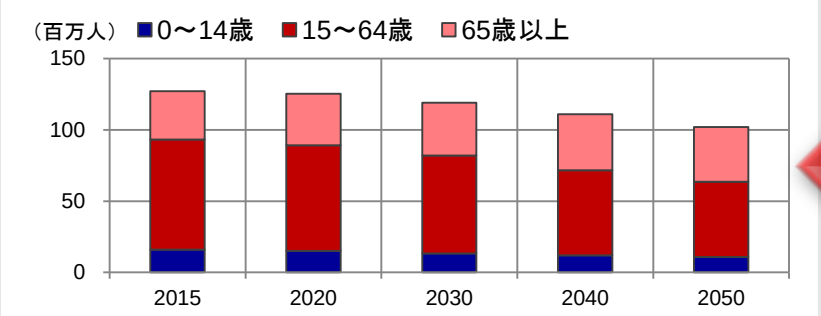
NIPPN

事業環境の変化

事業環境認識（１）食品市場を取り巻く環境の変化

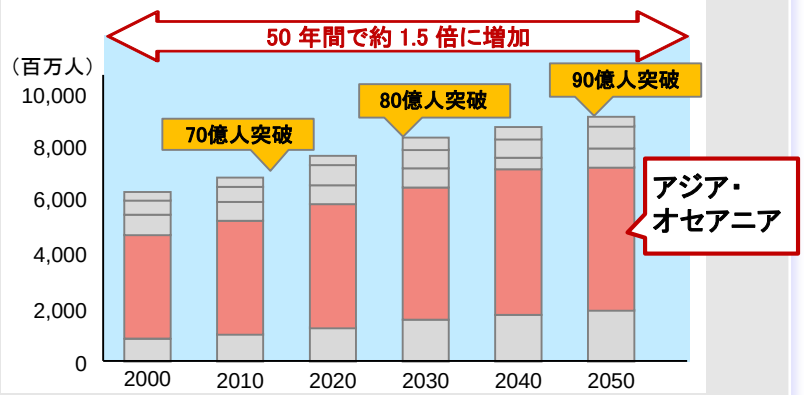
人口動態の変化 国内市場は縮小

➢ 労働人口の減少



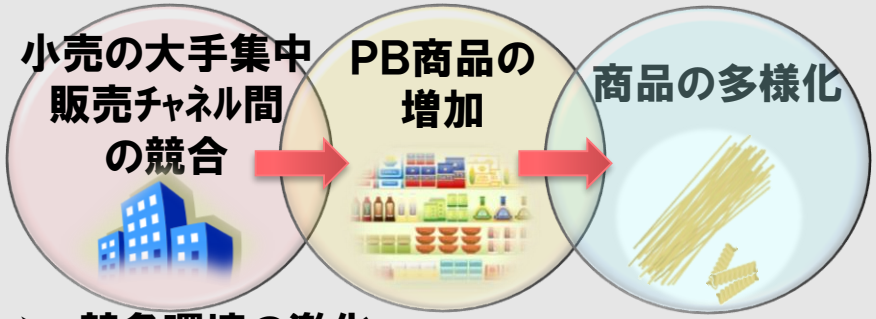
出典：国立社会保障・人口問題研究所　日本の将来推計人口

➢ 海外市場は拡大→食品輸出市場規模１兆円



出典：国連人口推計

商品の変化



➢ 競争環境の激化
→ネット通販、CVS、ドラッグストア

生活者の変化→ニーズの変化

●高齢化の進行→65歳以上が3割

●女性の社会進出
●共働き世帯の増加
→1，129万世帯

●少数世帯の増加
→全世帯中6割

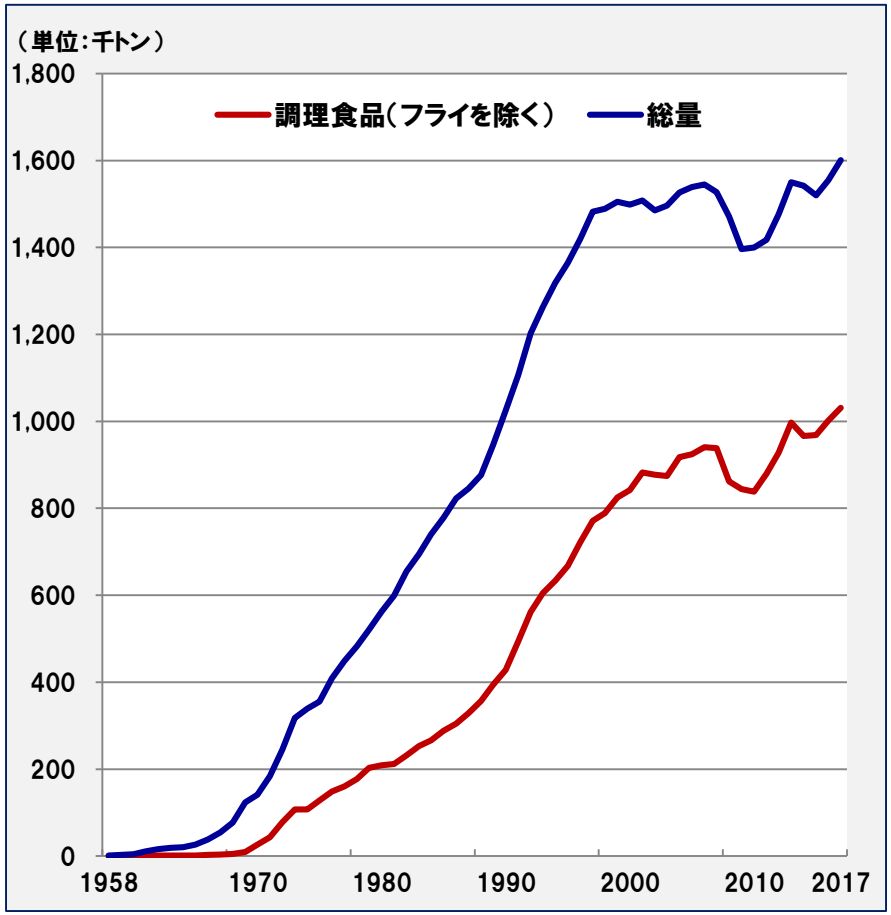
ニーズの多様化　簡便、即食

（出典）2018全国農業協同組合連合会

NIPPN

事業環境認識（２）食品市場データ

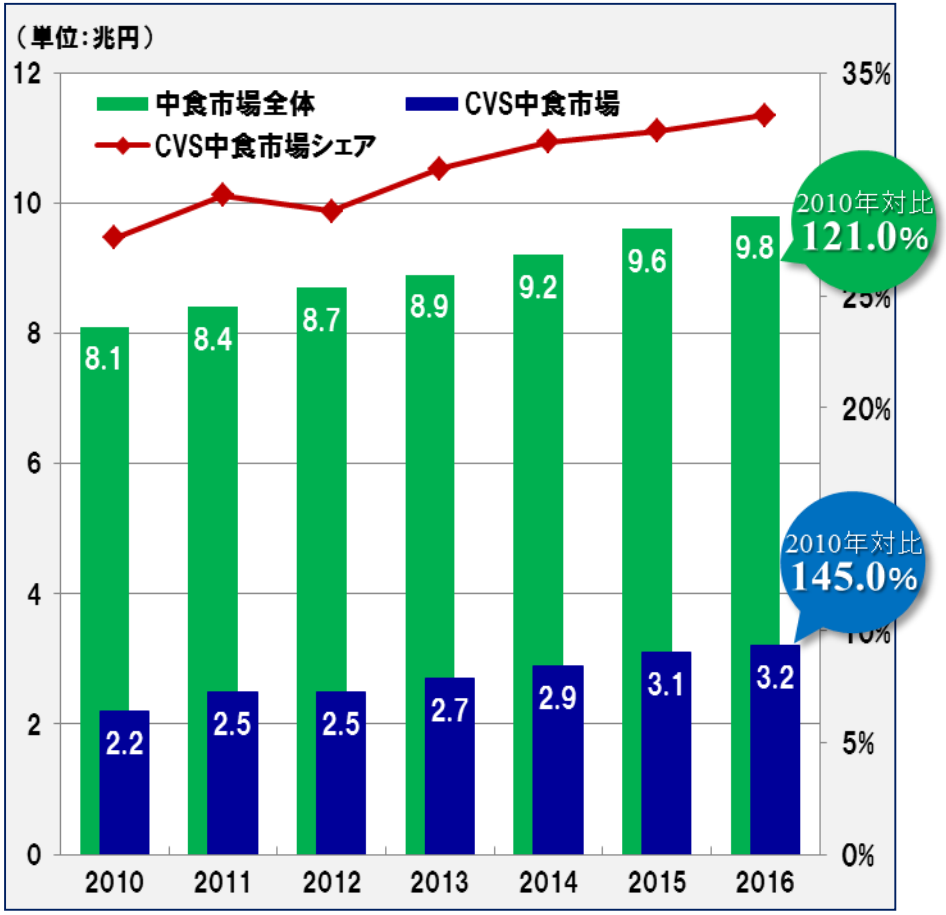
冷凍食品（国内生産量の推移）



（出典）一般社団法人 日本冷凍食品協会

中食市場／CVS中食市場とシェア

※支出額

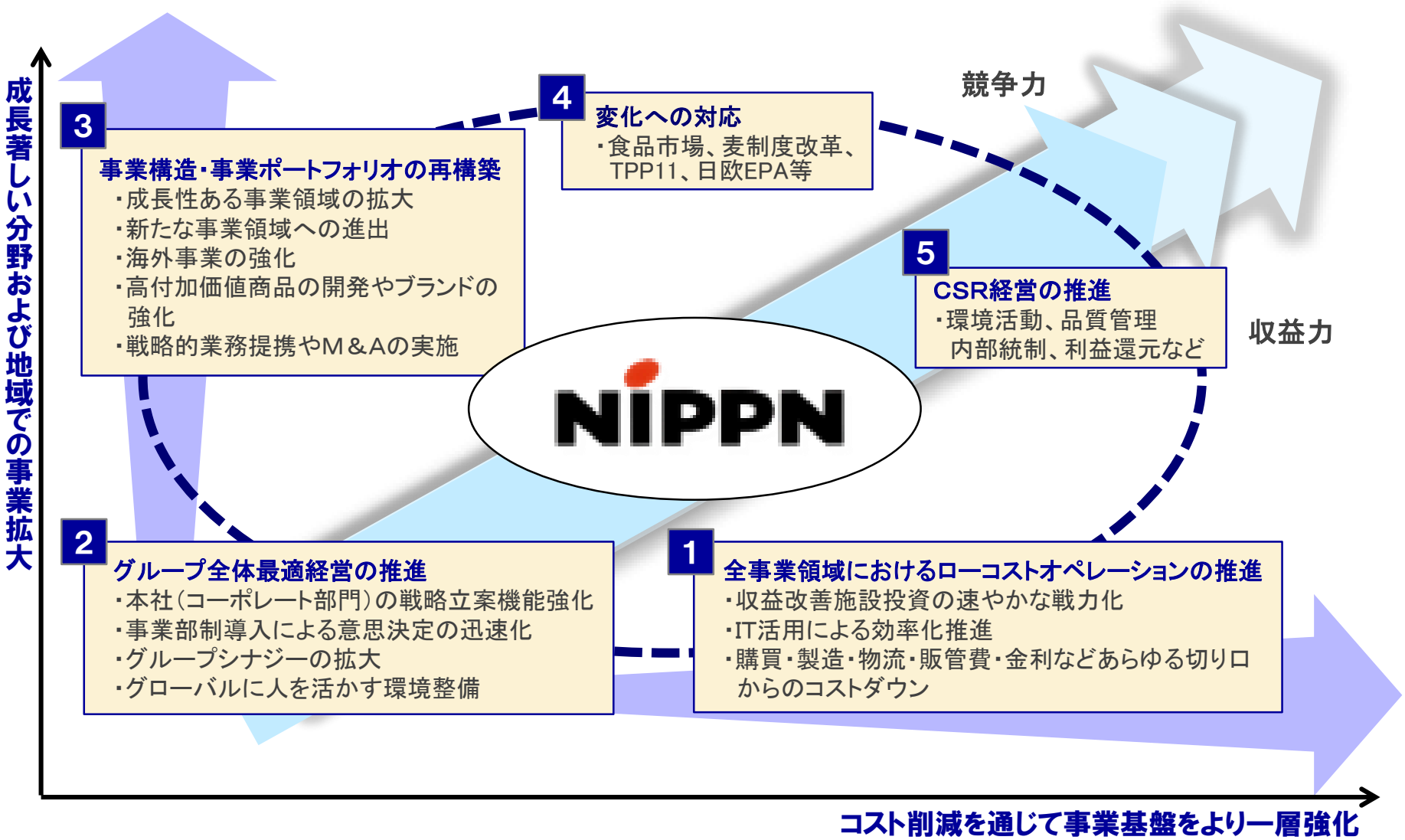


（出典）一般社団法人 日本惣菜協会「2017年度惣菜白書」※「袋惣菜」含む
株式会社富士経済「中食惣菜市場調査」

NIPPN

持続的成長戦略

環境変化へ迅速に対応した成長戦略



事業基盤強化の取り組み

― 製粉及び食品の基盤強化 ―　ローコストオペレーション戦略

生産効率

複合
工場化

臨海工場
への集約

83%

設備投資による
コストダウン

サイロ
増設

省エネ
ロボット化
投資

生産ライン
自動化

コストダウン

競争力強化、収益力向上

NIPPN

プレミックス事業

食品の基盤事業　ープレミックス事業ー

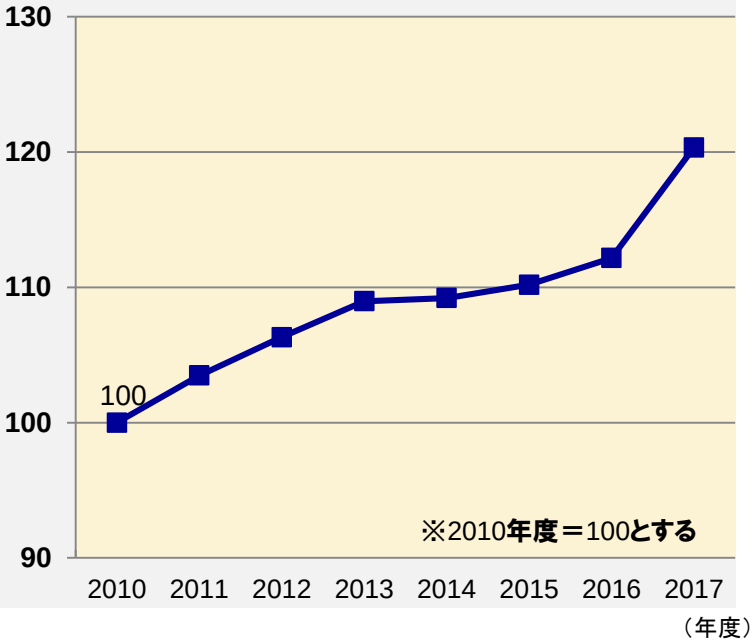
プレミックス市場動向

■人手不足から作業効率の軽減、
　品質の安定と差別化　→　市場規模の増加
■健康・本格志向、人手不足、簡便・時短の
　ニーズに対応し当社シェアアップ

当社の強み

■商品ラインアップの幅広さ
■顧客が抱える課題への対応能力の高さ
■自社商品の競争力の高さ
■海外製造拠点の拡大

当社プレミックス売上推移（業務用）



◆ ケーキドーナツミックス

◆ ケーキミックス

◆ ブレッドミックス

◆ から揚げ粉

◆ 天ぷら粉

その他蒸しパンミックス、イーストドーナツミックス、スナックミックス（洋風、和風）等

パスタ事業の展開（１）

●日本国内でのパスタの供給 → 2016年より輸入品の割合が5割を超える

ー 国内産パスタの供給 ー

REGALO（レガーロ）

イタリア語で「贈りもの」を意味するプレミアムパスタ

弾力性に優れた食感を実現

原料・セモリナ・製法のこだわり

- ●全米有数の生産量を誇り、優良なデュラム小麦が生産されるモンタナ州原料を輸入
- ●デュラム小麦の胚乳部中心からとった粒度の粗いセモリナを厳選して使用
- ●高温で時間をかけて乾燥することにより、小麦本来の風味と弾力を実現

オーマイ

デュラムセモリナ１００％使用
パスタ本来のおいしさを守り
続けるブランド

業界最速の80秒で
ゆで上がる「超早ゆで」

乾麺でありながら
生パスタのような
食感・色・香り が特長

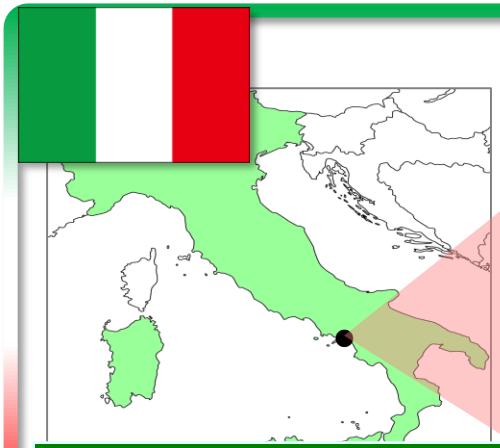
日本初のデュラム小麦新品種
「セトデュール」を１００％
使用したスパゲッティ

瀬戸内地域で栽培された原料を同地域でパスタ加工
地産地消の取り組み → 安心、環境負荷の低減

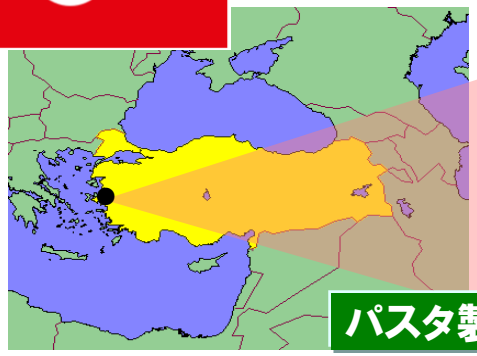
NIPPN

パスタ事業の展開（２）

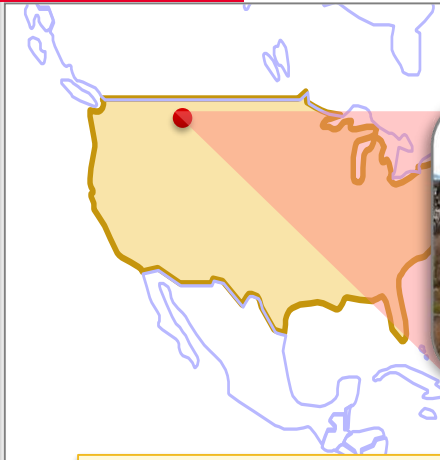
― 海外拠点からの供給 ―



カンパーニャ州で最大規模の生産キャパシティー



パスタ製造工場（イズミール）



- パスタの製造・販売
- 新ライン稼働開始（能力1．4倍）
- 日本輸出向け出荷好調 → 40%
- 米国内向け販売の拡大 → 60%

成長分野での事業拡大

食と消費の変化を見据えて

ライフスタイル → 個食化 → 簡便性 → 健康 → 海外展開

共働き | 単身世帯 | シニア | インバウンド | 国内人口減

価格 | おいしさ | 栄養 | 文化

簡便時短 | 包装形態 | 食べ易さ | 健康機能性 | 環境

市場創造型商品開発

冷食事業
一食完結型商品のラインアップ強化

中食事業
CVSとの取り組み強化

ﾍﾙｽｹｱ事業
健康寿命延伸事業への取り組み

海外事業
北米・アジア地域での販売拡大

NIPPN

冷食事業(１)

様々なニーズに合わせたパスタのラインアップ

◆オーマイプレミアム

◆ 具の衝撃

◆ 旨盛り

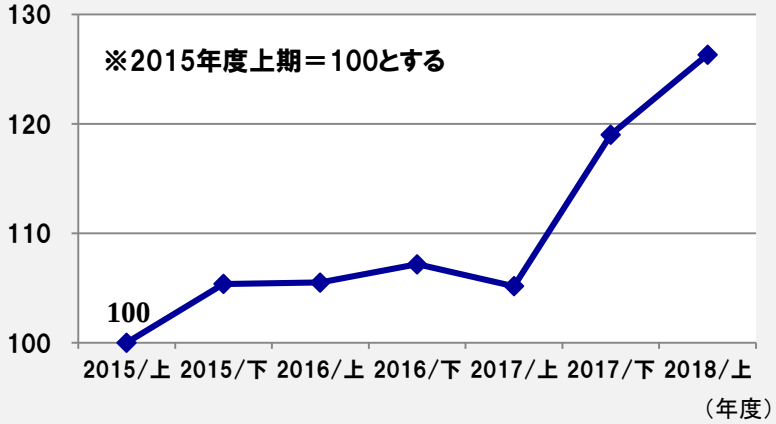
◆Big

あらゆる食シーンに対応するラインアップ拡充

◆トレー入り米飯　いまどきごはんシリーズ

◆ 一食完結型よくばりシリーズ　新たに「和食」を投入

当社市販用冷凍食品売上推移



NIPPN

冷食事業(２)

環境に配慮した商品の開発　－ プラスチックの利用削減 －

〔2018年春プラスチック容器からの変更〕

紙トレーを採用し、環境問題への貢献、安全面を考慮した世界初となるモールド容器(※1)を開発

特許出願中

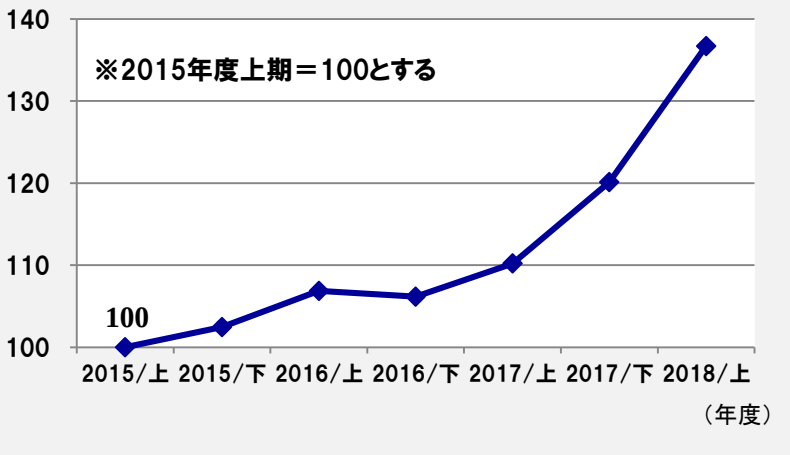
※１　モールド容器
原料パルプを水に溶かし、金型で漉き上げて乾燥させてできる紙成型品。

既存品　PEFC表記

森林認証紙を使用
PEFCの認証を受けた森林の木材を原料とした紙を使用

※PEFCとは･･･森林が適切に管理されていることを認証する国際的な組織

紙トレー使用銘柄(NB)売上推移

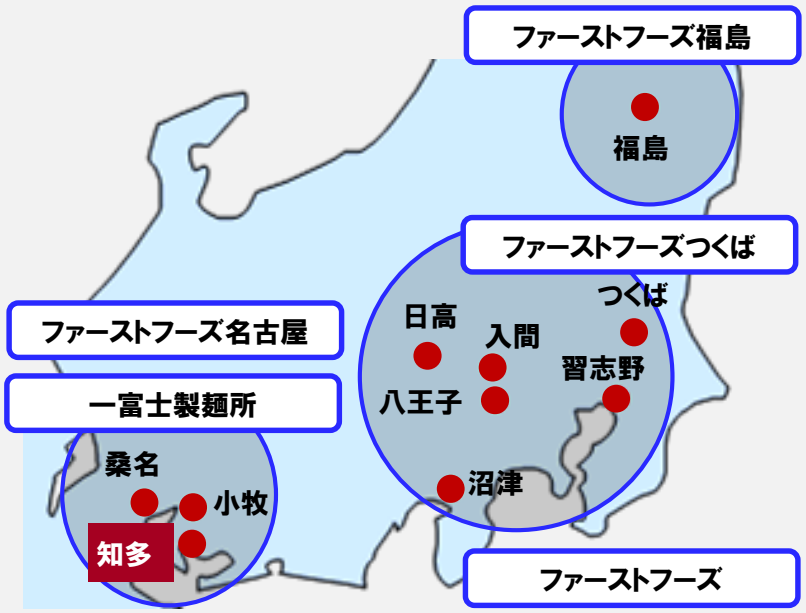


NIPPN

中食事業

ニーズの多様化（簡便、即食）に合わせて拡大

ファーストフーズグループ5社10工場



㈱一富士製麺所

新調理麺工場（愛知県知多市）来年稼働予定

ＣＶＳとの取り組み拡大

■ＣＶＳと横断的取り組みを強化し、成長市場へ販売拡大

➢ 需要増対応、事業強化のための設備投資実施
→調理麺、弁当、おにぎり、サンドイッチなどの供給体制の整備

中食市場への売上拡大

■グループの多様な食材（商品）を中食市場やスーパーマーケット（バックヤード）へ販売

➢ 市場ニーズのフィードバック、メニュー提案の強化

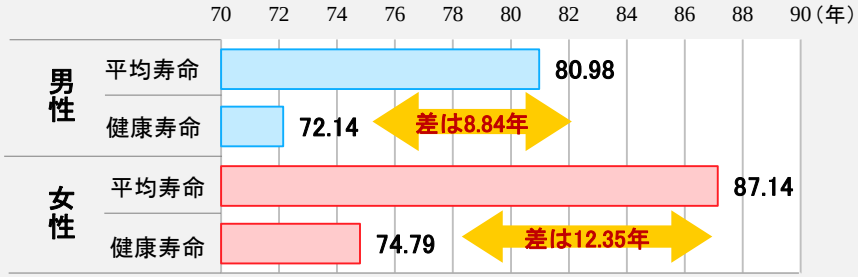
NIPPN

健康寿命延伸事業への取り組み（１）

ー 機能性素材の活用 ー

健康寿命：
健康上の問題がない状態で
日常生活を送れる期間

健康寿命と
平均寿命との差



健康日本21（第二次）推進専門委員会資料から作成

アマニ関連商品　素材・加工食品・健康食品

注目を集めるアマニの栄養価

素材から加工食品、サプリメントまで幅広く展開

コレステロール値が
高めの方へ
機能性表示食品

【マスリンタブレット】

オリーブ果実エキスの開発・商品化

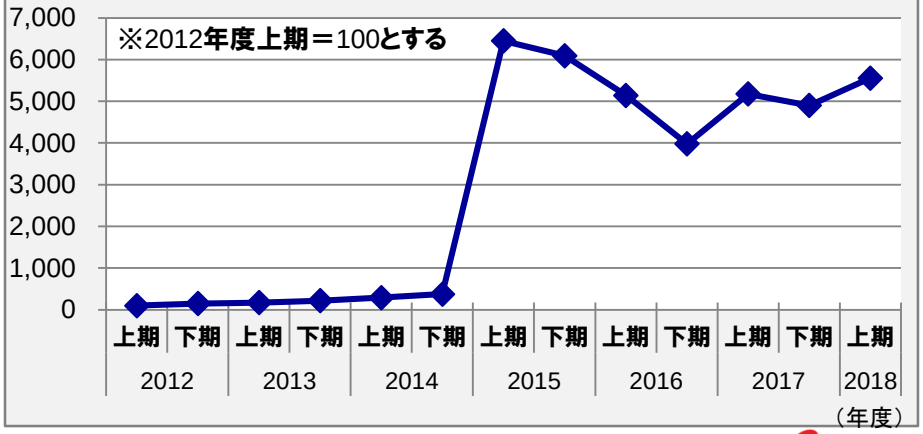
産官学の共同研究機構に参画
高齢者の健康維持をサポート

オリーブ果実から
有効成分マスリン酸を
抽出
⇩
当社独自素材
オリーブ果実エキス
（国際特許出願中）使用

【潤つやセラミド】

機能性表示食品
“肌の乾燥が
気になる方に”

アマニ関連商品売上推移



NIPPN

健康寿命延伸事業への取り組み（２）

― 付加価値を高めた野菜の活用 ―

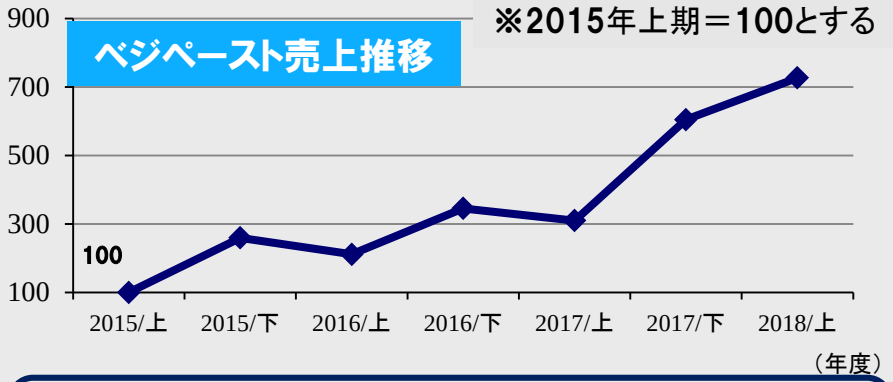
◆当社「ベジペースト」の優位性

・色鮮やかで濃い味わい　・解凍して未加熱で使用可　・こだわりの製法「過熱水蒸気加工」

リコピン入り人参「こいくれない」

栄養価高いケール「こいあおな」

赤い野菜ビーツ「こいあかね」



ベジ（野菜）ペースト

こいくれないペースト　こいあかねペースト　かぼちゃペースト　こいあおなペースト

野菜を各種スムージーに

にんじんのスムージー

ケールのスムージー

ビーツとベリーのスムージー

NIPPN

海外事業

成長著しいアジア地域と北米市場での販路拡大に注力

アジア　～タイ・中国・インドネシア～

天津全順食品有限公司

・プレミックスの製造・販売

上海日粉食品有限公司

・プレミックスの製造・販売
・FSSC22000認証取得

天津
上海
バンコク
ジャカルタ

NIPPN(Thailand)Co., Ltd.

・プレミックスの製造・販売
・FSSC22000、HALAL等の認証取得
・タイ国内及び周辺諸国への販路拡大

Nippon Flour Mills (Thailand) Ltd.

PT. NIPPN FOODS INDONESIA

・プレミックス等の販売

アメリカ

Pasta Montana, L.L.C.

・パスタの製造・販売
・日本への輸出、米国内の販売
・新ライン稼働開始（能力1．4倍）

モンタナ州
カリフォルニア州

NIPPN California Inc.

・北米マーケットにおける
　食品食材の製造・販売

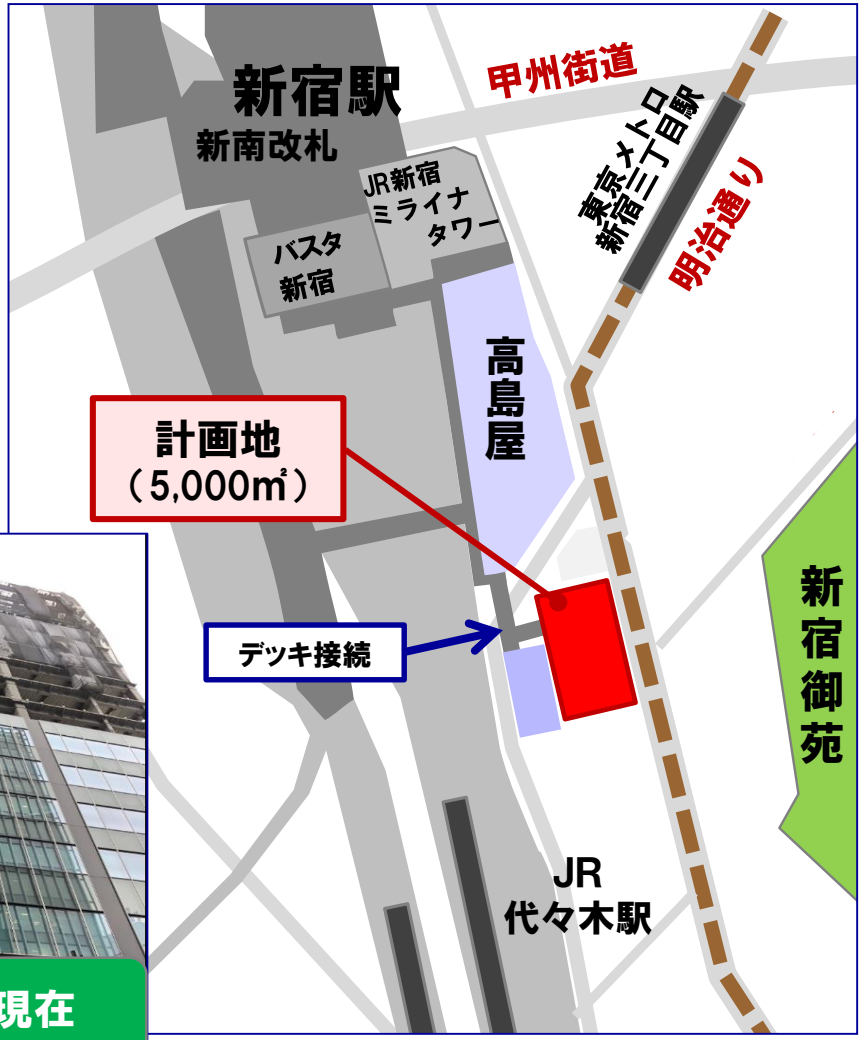
NIPPN

新宿南口プロジェクト

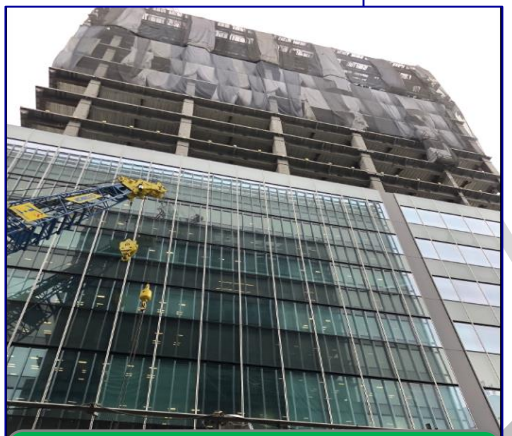
JR新宿駅南口に、大規模複合ビルが誕生

【再開発事業概要】

施工許可申請内容	
事業地域	東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目地内
共同施行者	当社、三菱地所株式会社
建物概要	地上16階／地下2階 延床面積　約44,100㎡
施工用途	事務所、店舗、地域貢献施設、駐車場等
着工	2017年6月
竣工	2019年8月



予想図（2019年8月完成）



2018年10月現在

NIPPN

成長戦略のまとめ

目指すべき企業像

グローバルな多角的食品企業

売上高　5,000億円　　営業利益　250億円

営業利益率
5%

ROE　8%

売上高　3,234億円
営業利益 100億円

中長期的な企業価値の向上

将来のキャッシュフロー増大

多角的成長への取組		経営資源の効率的活用	収益力の強化	
・海外拠点の強化 ・M&A	・成長分野の育成 ・市場創造型商品開発	・グループ経営の強化 ・シナジーの拡大	・顧客満足度向上 ・高付加価値商品の販売	・コストリダクション追求 ・収益改善設備投資

NIPPN

CSR経営の推進

CSR活動

食　育

子どもたちの成長をあと押し

爲末大学 食育学部

- 元プロ陸上選手為末大氏との共同企画
- 小学校で運動と食事についての特別授業を実施

アマニフォーラム

生活者にやさしい社会の実現

- 健康寿命を伸ばしてQOL（生活の質）を上げていく
- 「最新の医療情報と正しい栄養情報」を生活者に伝える

第５回開催の様子

環境活動

環境との調和に配慮

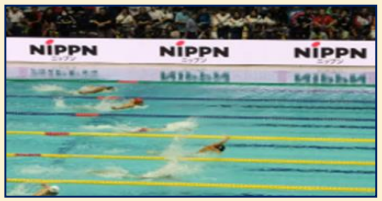
- 冷凍食品の紙トレーに森林認証紙（PEFC）を使用

- あらたにモールド容器を活用し、安全性と環境に配慮した「無漂白のeco紙トレー」を開発

スポーツ支援

人々の健康づくりを応援

- 水泳日本代表のオフィシャルスポンサー
- 日本ラグビーフットボール協会のサポーティングカンパニー



認証取得

- 竜ケ崎工場で食品安全マネジメントシステム「JFS-C」認証（※）を取得

※当社も支援する食品安全マネジメント協会の規格

竜ケ崎工場

ISO14001の認証拡大

本社と全工場においてISO14001の取得を拡大

環境方針の改定

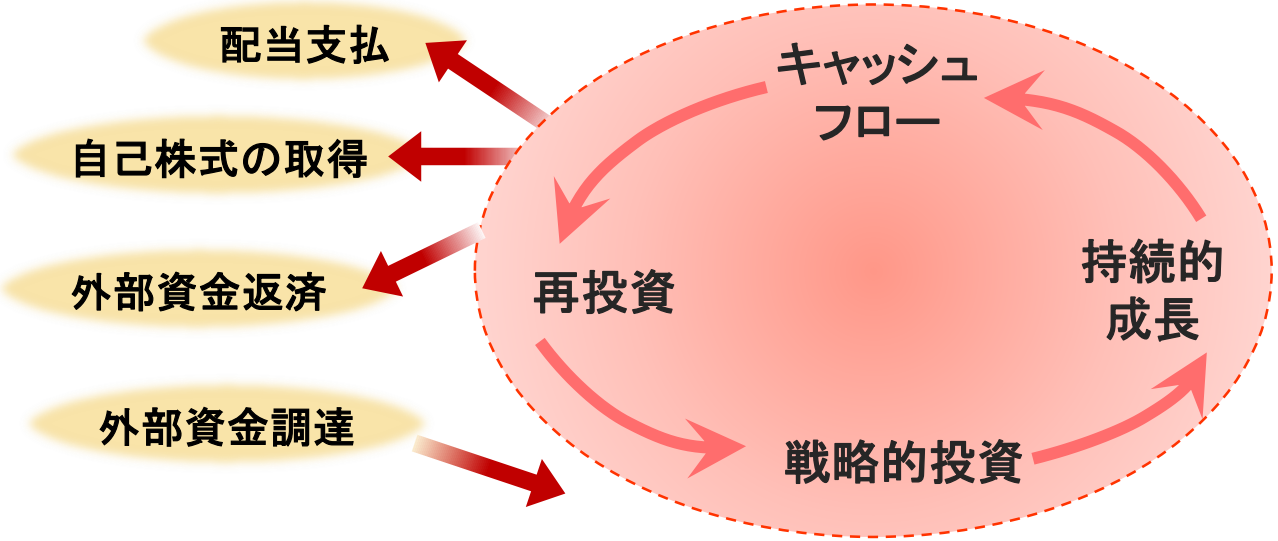
「日本製粉グループは、大地の恵みを受けて、食にかかわる事業活動を行っています。事業活動が、環境に負荷を与えている事実を深く認識しながら、人と環境の調和を目指し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。」

NIPPN

財務体質強化の考え方

■基本方針

- 戦力的投資を伴う持続的成長により事業から安定的に獲得したCFを最適配分する
- 資産効率化により最適資本構成の実現を図り、格付けを維持・向上させる
- 利益還元（自己株式の取得を含む）を継続して実施できる財務体質を構築する



＜ご参考＞

- 2013年4月
  SB 発行　50億円
- 2018年6月
  CB 発行　250億円
- 2018年9月末
  自己株式数　488万株
  （期中取得数　280万株
  期中消却数　－）

取得累計　1,885万株
単元未満買取　6万株
売却ほか　253万株
消却累計　1,149万株

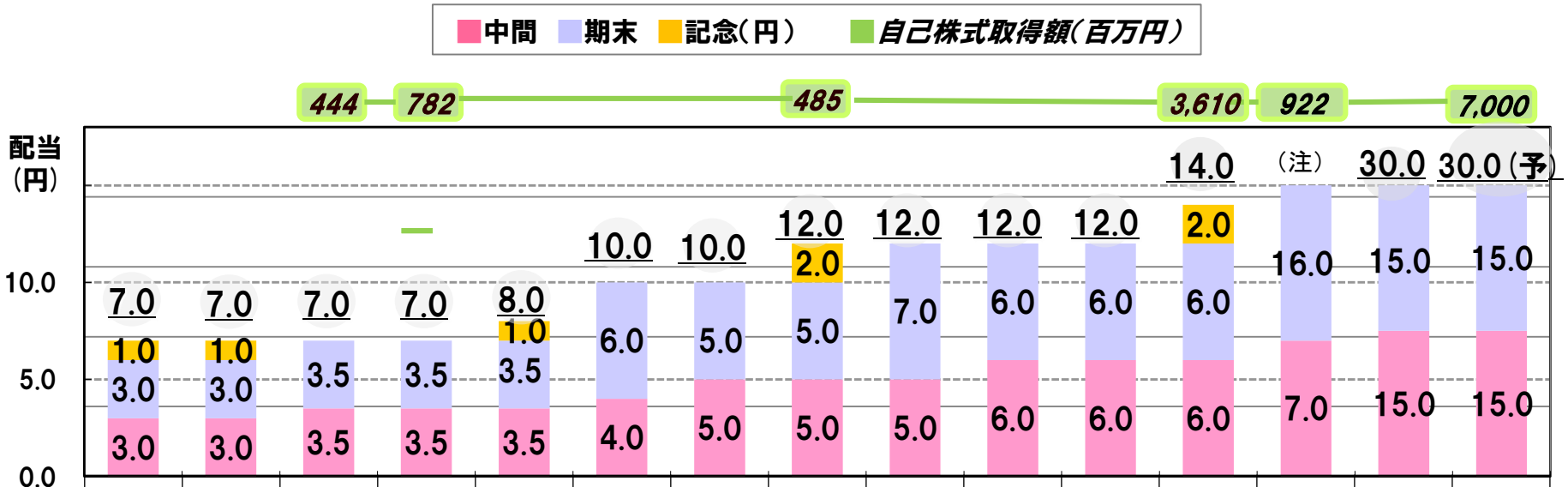
目標とする指標	営業利益率	ROE	ROA
	5%	8%	4%

NIPPN

利益還元

- 企業体質の強化及び今後の事業展開、経営環境、内部留保などを総合的に勘案し、安定的かつ持続的な配当の維持を基本としているが、株主への利益還元も重要な経営目標のひとつとしている。
- 連結業績及び財務状況を総合的に勘案して実施する。

（注）2016年10月1日に株式併合（2株を1株へ）及び単元株式数の変更（1,000株から100株へ）



	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度（予）
配当性向（連結）	24.9%	24.3%	28.5%	30.9%	27.7%	21.2%	27.7%	32.0%	28.3%	25.4%	28.4%	27.7%	26.9%	31.5%	26.8%
株主還元率※（連結）	24.9%	24.3%	39.2%	51.4%	27.7%	21.2%	27.7%	39.8%	28.3%	25.4%	28.4%	71.6%	37.3%	31.5%	104.6%
記念配当	オーマイブランド50周年	創立110周年			オーマイ合併20周年			創立115周年				創立120周年			

※株主還元率＝配当性向＋自社株買い比率（自社株買い/純利益）

自己株式取得

【2018年6月6日　自己株式取得に係る決議】

- 取得対象株式の種類　・・・　普通株式
- 取得する株式の総数　・・・　4，500，000株（上限）
- 株式の取得価額の総額　・・・　70億円（上限）
- 取得期間　・・・　2018年6月7日～2019年3月31日
- 取得方法　・・・　東京証券取引所における市場買付け

株主還元の充実と資本効率の向上

NIPPN

お問合せ先

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、様々な条件・要素によりこの計画や予想数値とは異なる結果になることがあります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではございません。

日本製粉株式会社・IR室

TEL　03(3511)5316
FAX　03(3237)3552

NIPPN